

11月29日（水）、ひまわり学級で国語科の努力点公開授業が行われました。

単元は、「話を聞いたり、楽しく話したりしよう」です。友達の話最後まで聞いたり、会話を楽しんだりすることができるようにします。

初めに、担任が紙芝居をしました。児童からリクエストのあった「かちかち山」です。読む前に、めあてを確認しました。最後にクイズを出すことを伝え、最後まで集中して聞くようにすることを確認しました。紙芝居では、聞きなれない言葉も出てくるため、言葉の説明を時々交えました。中には、メモを取りながら話を聞く児童もいました。



【紙芝居を聞く児童】

紙芝居の後、クイズをしました。登場人物やその様子、話の内容について聞き、児童に答えさせました。長い話だったので、すぐには答えられないクイズもありましたが、ヒントを出すと、答えることができました。また、メモを取っていた児童は、メモを見ながら答えることができました。



【クイズに答える児童】

次に、お話タイムをしました。お話のテーマをくじで引き、テーマについて質問したり、答えたりして話を広げていきます。「飲み物」がテーマのときは、児童が担任に、「好きな飲み物は何ですか」と尋ね、「ビールです」と答えると、「なんでビールが好きなのですか」と質問することができました。さらに、担任が「シュワシュワしておいしいからです」と答えると、「ぼくは無理」とつぶやく児童や、「ぼくも無理。ビールは20歳から」と話を広げる様子が見られました。



【お話タイムの様子】

いくつかのテーマでお話タイムをした後、授業の振り返りをしました。どの児童も、友達の話最後まで聞いたり、会話を楽しんだりすることができたと言いました。

今回も、クイズに答える場面では、登場人物についての簡単な質問、登場人物の特長についての少し難しい質問、タヌキのこらしめ方についての難しい質問と、難易度を変えて児童にクイズを出しました。お話タイムでは、質問させる、質問に答えさせる、答えに対しさらに質問をさせる、感想を言わせるなど、児童の実態に合った会話をさせました。

特別支援学級では、一人一人に合った学習内容を、個別最適な方法で支援します。「話すこと・聞くこと」の学習でも、児童一人一人の実態に応じた学習内容や支援方法を考えていくことが大切です。